

| 運用コード | 項目名称 | 項目略称 | 運用事例 | | | | | 正式(推奨)JLAC10-17桁 | | | | |
|-------|------|------|--------|------|--------|------|--------|------------------|-------|-----|----|----|
| | | | 機器メーカー | 使用機器 | 試薬メーカー | 使用試薬 | 製造承認番号 | JLAC10運用事例 | 独自コード | 分析物 | 識別 | 材料 |

施設でそのまま流用可能な、JLAC10と1対1で対応する番号を付番する。(6桁前後)
同一の分析項目で測定方法が異なる場合の付番方法については協議する。

各データ提出者から集めた運用事例を記載する。明確に誤っている(問題あり)と考えられるものは除外する。

JLAC10の解釈から正しいと思われるコードを記載する。

項目は分野毎(血液、生化学など)でまとめる